

2022年8月

第143号

ぱれっと



㈱北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

安倍元総理大臣のご冥福を祈る

安倍晋三元総理大臣が7月8日参議院議員選挙の応援のため奈良市を訪れ、駅前街頭演説を開始してまもなく背後から拳銃で狙撃されお亡くなりになってしまった。心から哀悼の意を表しご冥福を祈りたい。

安倍元首相は憲政史上最長の8年8ヶ月にわたり首相という重責を担い数々の功績を残してきた。信条としていた「憲法改正」は成し遂げられなかったものの一定の条件のもとでの集団的自衛権の行使を可能としたほか、「自由で開かれたインド太平洋」や日米豪印の枠組「Quad(クワッド)」を打ち出し、米国のトランプ大統領との個人的な深いつながり、ロシアのプーチン大統領とも北方領土の返還交渉を精力的に行い返還までにはいたらなかったものの「平和条約」締結交渉が先決だとのロシアの立場を共通の認識として確認できたのは今後の第一歩を考えるヒントを掴めたことになる。(ただし、ロシアは現在ウクライナと侵略戦争をしており、したたかで一筋縄では行かないと見るべきかも知れない)。長期政権でG7などでもこれまでになく存在感を示してきたと言える。一方、経済面では「アベノミクス」として取り組んできたが、日銀の低金利政策もあり、長期にわたって経済成長が滞ったままとなっており失われた30年などとも言われている。しかし、これは1100兆円を上回る国債発行の金利負担を考えると財政との兼ね合いでやむを得ない面もある。現在、米国との金利差が大きく乖離し円安が進み、物価が急上昇の様相を呈しており、難しい舵取りが求められている。

アジア・ビジネス・エディターのレオ・ルイス氏のコメントで「安倍氏は『美しい国、日本』というスローガンを掲げ政治活動を展開してきた。代々木公園でこの大物政治家は2つの異なる日本の美しさを享受していた。一つは、安倍氏が着ていたピンク色のゴルフ用セーターと満開の桜、もう一つが気軽に散歩できるという文明的美しさだ」と指摘している。

今回の事件よっての損失は計り知れないものがある。「ご本人の政治家としての使命が途絶えたこと、世界で最も安全で日本国民が営々と築き上げてきた心地よい文明国」のイメージを一瞬にして叩き壊されてしまった恐れがある。

岸田総理大臣は1.憲政史上最長の重責を担ってきた 2.経済再生や外交などの功績 3.国際社会からの極めて高い評価 4.国内外から幅広い哀悼・追悼の意が寄せられていることなどを理由として9月に国葬を行うと発表した。政治家では吉田茂総理大臣以来のことである。国葬に対して一部に反対の意見も聞かれるが、先般、増上寺で行われた通夜には2500人以上が参列し、海外からも沢山の弔意が寄せられている。多くの海外要人の参列も見込まれ故人にふさわしい葬儀を執り行って頂きたい。

日本民族の自覚

島国根性のかわりに、新しい時代に、われわれが欲しいものは国際人としての高い世界的視野と、この世界的視野における日本民族としての自覚であります。

宇宙時代になり、世界がどんなに狭くなっても日本人はあくまでも日本人であり、日本人として世界人になるのであって、それ以外の中性の人間になるのではありません。

日本には日本の自然があり、日本の歴史があり、日本の体質があり、これらがあつての日本人であつて、それ以外であろうと考えても、それは生物学的にも不可能であります。

強い国になる

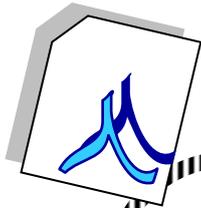
国際視野から見て、発言力を持つためには、国として、民族として強くならねばなりません。しかし、誤解を防ぐために、特に断っておきますが、ここで国として強くなるということは、戦争に勝つためとか、弱い国をいじめるためとかということではなく、むしろ弱いものに手をさしのべ、弱いものを助けるためであります。

我々は、その苦い経験からも、世界の誰よりも戦争に反対し、積極的に世界平和の確立に努力せねばなりません。

日本を愛す

私が特にここで強い国にならねばならぬというのは、個人としても、国としても、自ら助くるものだけが真に自律し得るのであり、いかなる時代でも自らの足で立てぬような国は、一人前の発言力を持てぬからであります。

当然のことながら、こういう意味で我々はもっと、積極的に日本の国を愛し、これを強くすることに熱意を持ちましょう。



魯迅 (中国の小説家・翻訳家・思想家)

1881年9月5日	中国清浙江省の裕福な家庭に生まれたが、父が死亡し家が没落。
1899年	南京の理系学校に入学。
1902年	国費留学生として日本に留学、医学を専攻した。
1904年	仙台医療専門学校に中国人留学生として入学。
1909年	中国へ帰国。杭州と紹興の中生物学教師となる。
1919年	『孔乙己』と『薬』の小説寄稿。
1921年	代表作『阿Q正伝』発表。
1920年～26年	北京大学・北京女子師範学校講師を経て広州へ。
1927年	教え子の許とともに上海へ。
1930年	国民党政府から作品が反体制文学として発禁処分に。外国美術に関する翻訳、復刻、評論活動を始める。
	国民党独裁体制を厳しく批判し続けた。
1939年10月19日	上海で国防文学論戦のさなか、持病の喘息のため急逝する。孫文の未亡人宋慶齡らの葬儀委員会が葬儀を執り行い、万国公墓地に葬られた。

オススメの *BOOK*



「老いの品格」(品よく、賢く、おもしろく)

著者 和田 秀樹

出版社 PHP 新書

著者は1960年生まれ。東京大学医学部を卒業し、長年老人を対象とした精神科医として現在も医療に従事する傍ら、映画作成などにも携わっている。

本書は医療に従事し6000人以上の老人と接してきた中から、こういう老人になりたいと、自らの願望を含めて記載されているように感ずる。「お金や地位があるだけでは幸せな老人にはなれない」とか「年を取ると頑固になると思われがちですが、むしろ長く生きているほど、多様性を認められるようになる」とか「めざしたいのは洒脱な老人、おもしろい老人、生き方がうらやましいと思われる老人」になることだという。

身体の調子が悪くお医者さんに行くと、決まって「加齢」ですといわれるが、せめて「華麗」な老人人生を送りたいものだ。



くらしと保険のおはなし

「夏本番」熱中症に気を付けて！

コロナ禍の中迎える3度目の夏は「ウィズコロナ」の過ごし方を模索するとともに、気を付けなければいけないのはやはり、暑さによる熱中症です。子どもや高齢者はもちろんのこと、一般の人たちも普段から熱中症予防には気を留めておくようにしましょう。

熱中症とは、温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇やめまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、さまざまな障害をおこす症状のことです。

総務省消防庁の統計によると、昨年（令和3年）5月から9月の5か月間に熱中症で救急搬送された人は全国で4万7877人もいました。年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。子どもは汗腺などの体温調節機能が未熟だったり、身長の高さから地



面の照り返しで高い温度にさらされやすいということがあつたりするため、一般成人と比べて熱中症にかかりやすくなります。また高齢者も汗をかきにくいなど体温を下げるための体の反応が弱くなりがちのほか、暑さを感じにくかったり、のどの渇きを感じにくかったりというように自覚が少なくなりやすいため、子どもと同様に熱中症になる危険が高いです。

熱中症予防のポイントとしては「部屋の温度をこまめにチェックすること」「室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使うこと」「のどが渇かなくてもこまめな水分補給をすること」「外出の際は体を締め付けない涼しい服装で、日よけ対策もしておくこと」「1日1回は汗をかく運動をすること」「無理をせず適度な休憩をとること」「日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がけること」などが大切です。

熱中症の応急手当

涼しい場所や日陰のある場所に移動しましょう。

衣服を緩め、安静に寝かせましょう。

エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やしましょう。

保冷剤で体を冷やすことも効果的。

首の回りやわきの下、太もものつけねなど太い血管のある部分を冷やしましょう。

飲めるようであれば水分をこまめに取らせてあげましょう。

【編集後記】

ひところ沈静化に向かったと思われていたコロナ感染者が先週から第7波とみられる急拡大の動きが顕著となっている、

7月20日には全国的に過去最高を記録する県が増加しており、御多分に漏れず、秋田県でも過去最高の830人の感染が発表された。

まもなく、各学校が夏休みに入り、また、夏祭りの季節を迎える。戦いの極意に「焦らず」「慌てず」「侮らず」というのがあつたが、感染予防の基本を各家庭でも徹底しこれ以上の感染拡大を食い止めるよう万全の体制で臨み楽しいお盆休みとしたい。